

物語~」では、圏域の景観や土記~鉄づくり千年が生んだ日本遺産「出雲國たたら風されました。

来市、雲南市、奥出雲町で構成)来市、雲南市、奥出雲町で構成)を 7月29日付けで認定継続を受けていた日本遺産が、本年受けていた日本遺産が、本年ので平成28年4月25日に認定を 鉄の道文化圏推進協議会(安

地域活性化計画)」の一切通じた地域活性化計画(新経過したことに伴い、が経過したことに伴い、が経過した。 を紹介します。 たたら製鉄の関連イベント 認定から6 「日本遺産をに伴い、継続に

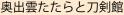
## 語として描いています。の地に息づいていることを物た「たたら製鉄」が、今もこ 文化に大きな影響を与えてき 一部と、 日本遺産(Japan Heritage)とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統 を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定す るものです。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れ る有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって 総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的 に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを 目的としています。

平成27年度から令和2年度までの6年間で、全国で 104件が認定。島根県内では7件が認定されています。



2022 0 月号





菅谷たたら山内

施産

構成文化財等を紹介する

|域の各市

一町には、

日

[本遺

の強化

|菅谷たたら山内 (雲南市) 」 「奥

和鋼博物館

(安来市)」

上に向けた取り組みを進め、制の整備やさらなる認知度向 地域全体の観光振興につなげ るとともに、 ネートできる人材や観光ガイ 補完する意味でも、 の整備やさらなる認知度向 があると考えています。 - などの育成と活用を図る必 :成文化財の保存・継承を図 また、ゲートウェイ機 今後も圏域一体となって、 観光客の受入体 コーディ 能 興味が持てる仕組みづくりを

者が日本遺産のストーリーに

行っていきます。

架などによって重点的に

デー

トウェイ機能を強

化

来訪

ザイン物の設置や印刷物の配そのためにも、統一的なデ れています。 イとしての機能強化 ではなかったため、ゲートウェ ガイダンス(案内) しかし、日本遺産ス が求めら が十分

●関連イベント

特別講演「製鉄伝播の点と線

~製鉄の起源とアジア・日本への展開~」

講演を通して鉄に関する文化に触れてみませんか。 日時 10月7日金15時~16時30分

れてきました。

ある位置づけのもとに整備さ 町)」があり、それぞれに特色 出雲たたらと刀剣館(奥出雲

場所 和鋼博物館映像ホール

村上恭通 氏(愛媛大学アジア古 代産業考古学研究センター長・教授)

募集人数 先着 100 人

参加料 無料

申込締切 10月6日(木)

## ができます。 日時・内容

初の

般公開

10月6日休8時45分~16時45分・釜土作りなど

粘土で釜土を作ったり、炉に風を送るため交代で鞴

を踏んだりするなど、古代たたら操業を体験すること

古代たたら復元操業の

般参加者を募集します

10月7日 金8時45分~16時45分・築炉など

古代たたらの復元操業に参加してみませんか。

10月8日(土)6時30分~16時45分・操業など

場所 和鋼博物館前広場

参加料 無料

見学 作業時間内であればどなたでも自由に見学でき ます。申し込みは不要です。

体験(3日間)(要申込) ▽釜土作り、炭割り、築炉、 鞴踏みなどの作業をします ▽1日単位でも体験で きます ▽旅費や食事などは各自で手配ください ▽募集人数:15人 ▽ 定員になり次第、締め切り ます

## 企画展示「日本刀 収蔵品展」

10月1日(土)~16日(日)

日時 場所 和鋼博物館第2展示室

入館料 大人310円、高校生 210円、中学生以下無料

※常設展示も観覧できます

和鋼博物館収蔵品の中から、日本刀を展示します。



問い合わせ 四和鋼博物館 23-2500



広報 うすぎ 2022 10月号